

DENSO

社 会 貢 献 活 動

年次報告

2003

デンソーは、「社会の共感を呼ぶ企業づくり」の実現をめざし、
社会と共生する企業市民として、さまざまな活動を展開しています。
本レポートでは、2003年度に行った活動の成果について詳しくご紹介しています。

取り組みにあたっての考え方(重点施策)

デンソーらしさを活かしながら、より社会からの共感を得ることができるよう、
3つの重点分野を設け、活動内容の充実に取り組んでいます。

重点分野:「障害者福祉」「青少年育成」「環境保全」
活動形態:「寄付協賛」「自主企画プログラム」「ボランティア支援」

～ 重点3分野(障害者福祉・青少年育成・環境保全)の活動内容充実 ～

障害者福祉

『アジア車いす交流センター』の事業立ち上げとNPO法人としての自立化

青少年育成

モノづくりと創造性啓発プログラムの企画・推進

環境保全

環境教育プログラムの企画・推進

～ 社員の自主的な社会参加活動の浸透と定着 ～

社員有志によるボランティアグループ「デンソーハートフルクラブ」の活性化
(ボランティア活動への参加者の拡大)

～ 活動の情報開示と評価の充実 ～

情報開示:活動内容の積極的な情報開示による、地域社会とのコミュニケーションの充実
活動評価:外部の客観的評価も含めた「評価システム」の確立

推進体制

社会貢献活動に関する会議体『社会貢献活動委員会(事務局:総務部)』を組織しています。
社会貢献活動のあり方や活動推進について審議検討し、具体的な取り組みに結びつけていきます。

社会貢献活動委員会(全社の方向性を審議・検討)



障害者福祉



特定非営利活動法人(NPO法人)

「アジア車いす交流センター(WAFCA)」(Wheelchairs and Friendship Center of Asia)

1999年4月に設立。車いすの普及活動を通じてアジアの障害者が自立できる環境づくりを行うこと、スポーツ・教育分野における支援を通じてバリアフリー社会の実現に寄与することをめざしています。2003年度は他のNGOと連携して新たな取り組みを開始するなど、活動内容の更なる充実を図りました。WAFCAの活動はインターネットのホームページでも紹介しています。(アドレス: <http://www.tns.ne.jp/wafca/>)

事業	実施日	内容
車いす生産支援と普及事業	4月～	タイ障害者財団の車いす工場「Thai Wheel」の生産支援活動(デンソータイランド社員による技術・生産指導等)を行いました。 ・生産台数:99年50台 00年350台 01年750台 02年1,000台 03年1,200台 ・Thai Wheelで生産した車いすの買い上げ→タイの障害児への寄贈(80台)
	6月、12月	タイのピッサヌローク県、ウボンラチャターニー県にて、WAFCA等から寄贈した車いす64台の修理、メンテナンス活動を実施しました。
	11月5日～11日	タイの車いす工場「Thai Wheel」にタイ、ラオス、マレーシア、ベトナム、アフガニスタンの車いす技術者14名を招聘し、「車いす製造・修理トレーニング」を開催しました。
障害者スポーツ交流事業	9月20日～21日	刈谷市体育館にて「あいおい損保杯・WAFCA車いすバスケットボール日本・タイ交流大会」を開催しました。 ・タイから1チーム、愛知県、静岡県等から7チームが参加
	4月、8月	タイのノンタブリ県、スラタニ県にてタイの選手60名を対象に車いすバスケットボールの技術研修を開催しました。
	2月23日～28日	タイ バンコク市のThai Japan Gymnasiumにて、タイのコーチ、選手60名を対象に、車いすバスケットボールの指導者養成ならびに技術研修を開催しました。
障害児教育支援事業	6月～	タイのローエット県、ノンブアンブー県にて他NGOと協働で車いすと奨学金をセットにした障害児教育支援プログラムを実施しています。
広報・啓発事業	2月5日～9日	タイでの活動視察及び車いす修理活動を目的としたタイフレンドシップツアーを催行し、会員33名が参加しました。

WAFCAの活動は、会員の皆さんの会費によって支えられています。一人でも多くの皆さんのご協力をお願いします。加入状況:2004年1月末現在1050口

「デンソー太陽」

障害者に働く場を提供し、社会参加と自立を支援するため、1984年に社会福祉法人「太陽の家」と共同出資で愛知県蒲郡市に設立。工場内は全てバリアフリーで、車いすの高さに合わせて昇降する作業台など、設備・治工具なども障害にあわせて医学的、労働科学的な配慮がなされています。工場では、約210名の方が軽自動車用メーターの組付けや関連部品の加工に従事しており、障害者の自立の場として、そして高品質な製品を安定的に供給する優良会社として知られています。また、スポーツ・レジャーイベントなどには当社の社員もボランティアとして参加し、交流を深めています。

生産金額(2002年) 45億円 生産台数(2002年)コンビネーションメーター=93万台・フューエルセンサー=26.9万台

イベント	実施日	内容
納涼大会	8月2日	愛知太陽の家敷地内で開催される「納涼大会」、19回目の2003年も多くの露店が並び、1000人を超える人で賑わいました。デンソー社員をはじめ地域からも多数の参加があり交流を深めました。
大分国際車いすマラソン選手出場	11月16日	今年で23回目の世界最大の国際車いすマラソン大会に、今年も6名の選手が出場しました。ハーフマラソン女子の部総合で4位に入りました。
快適職場推進計画認定取得	12月16日	働きやすい快適な職場環境づくりの一環として、工場ベランダと食堂に隣接して屋外に屋根付の喫煙所を設置して、工場の分煙化を実施しました。この喫煙所設置費用には、02年度デンソー社長賞(特別賞)受賞賞金を利用しました。

「大分国際車いすマラソン大会」の支援

当社は1991年の第11回大会より協賛企業として大会運営をサポートしています。

第23回となる2003年も、大会への協賛をはじめ、従業員ボランティアが中心となり、以下の支援活動を行いました。

事業	実施日	内容
運営ボランティアの派遣	11月16日	21名の社員及び家族がボランティアとして参加し、スタート地点・コース沿道の観客整理、選手の介護、会場の後片付けなどを実施しました。
大会参加選手の練習サポート	10月11日 11月1日	社会福祉法人「太陽の家」愛知事業本部から大会に参加する7名の選手を支援するため、西尾製作所の工場敷地を開放し、練習の場として活用していただきました。延べ14名の社員ボランティアが選手のタイムキーパーなどの支援をしました。

地域の社会福祉施設との交流・支援

事業	開催年月	内容
障害者施設「くるみ会」への業務委託	1999年 10月～	冷暖房製造2部がヒータコア製造時に発生するパッキンの裏紙の裁断とポリ袋への封入作業を「くるみ会」に業務委託し、その製品を梱包用のクッション材として再利用しています。
障害者授産施設「さくらワークス」の支援	2000年 12月～	愛知県豊田市にある身体障害者通所授産施設「さくらワークス」が製造するクッキーを会社の贈呈品として活用し、障害者の自立を支援しています。
NPO法人「バンドラの会」の支援	2001年 3月～	愛知県刈谷市にあるNPO法人「バンドラの会」の障害者が製造するお菓子を、社内売店(刈谷生協)の協力を得て店頭販売したり、会社の贈呈品として活用し、障害者の自立を支援しています。
心身障害者授産施設「ポテトハウス」の支援	2001年 4月～	愛知県安城市にある心身障害者通所施設「ポテトハウス」にて第3土曜日に開催される「ポテト市」で、社員ボランティアが本施設で製造しているお菓子の販売などをお手伝いしています。

青少年育成



「デンソー モノづくりフェスタ 2003」

次世代を担う子供たちにモノづくりの楽しさを体験してもらおうと、安城市高棚町の高棚製作所で年1回、「モノづくりフェスタ」を開催しています。親子や友達同士で訪れた小学生と中高生、約3,000人(2日間)が、手作り工作などにチャレンジしました。参加した子供たちは、「自分で作った電動カーが、動いてうれしい」「万華鏡がきれいにできたので、夏休みの工作にしたい」と、作品を手を目を輝かせていました。催しでは、デンソー短大の指導員・生徒、デンソー養技会の社員など、約300名が講師を担当し、子供たちのサポートをしました。

実施日	イベント	内容
8月23日 (小学生向け)	電動オフロードカー工作	モータと電池を使って電動の模型車を作りました。
	ゴム動力カー工作	ゴム動力で走る車を作りました。
	タイルコースター	タイルを貼り付けてコースターづくりをしました。
	万華鏡づくり	ダンボールの筒を使って、万華鏡づくりをしました。
	木工作	木切れとくぎを使って動物や昆虫を作りました。
	オリジナルキーホルダーづくり	パソコンで写真やイラストを取り込んでオリジナルキーホルダーを作りました。
	おもしろ科学実験ショー「爆発ステーション」	アルコールなどを使った安全で楽しい爆発実験ショー。楽しく爆発の原理を学びました。
	技能五輪実演見学	旋盤、フライス、電子機器組立など技能五輪選手の技のすばらしさを見学していただきました。
	技能体験コーナー	図面から実物を探したり、形状、材質の違いによる重さの計測など、モノづくりを考え、楽しみながら体験できるクイズコーナーを設けました。
	簡単モノづくりコーナー	缶バッチ、パラシュート、バスルクラフト、グラスデコ、ドライアイスシャーベットのストーンペイント、マジカルビールの紙ヒコーキなど、約10種類のコーナーを設けました。
8月24日 (中・高校生向け)	電子時計工作	電子部品を半田づけしてデジタル時計を作りました。
	オリジナルキーホルダーづくり	金属加工してキーホルダーや携帯ストラップを作りました。
	万華鏡づくり	金属加工した筒を使って万華鏡を作りました。
	オリジナルマウスパッド	パソコンでデザインを考え、マウスパッドを作りました。
	オリジナルアクセサリ	樹脂粘土を使ってネックレスやブローチを作りました。
	アクリル工作	アクリル樹脂を切ったり、曲げたりして、一輪だしや携帯電話立てを作りました。
	タイルアート	タイルをしきつめてミニテーブルを作りました。

「少年少女発明クラブ」支援

デンソーの社員が講師や工作指導ボランティアとなり、地域の少年少女発明クラブの活動を支援しています。発明クラブの小学生を対象に、科学への興味を引き出し、自分の手でモノづくりをする楽しさを知らせてもらうために、以下のような創造学習のサポートをしました。

事業	実施日・会場	内容
西尾・安城少年少女発明クラブ夏休み課外講座	8月23日 高棚製作所	西尾市・安城少年少女発明クラブの夏休みの課外講座として、「モノづくりフェスタ2003」に招待。普段あまり体験できない「科学実験ショー」や「工作コーナー」に、目を輝かせていました。 (小学生 約40名。発明クラブ指導員 約10名参加。)
刈谷少年発明クラブデンソー特別講座	2月14日 刈谷少年発明クラブ	「音の世界に触れてみよう」講座を開催しました。音の波形をみる「オシロスコープ実験」や警報用携帯ブザーを使った「ドブラー効果実験」等を行うなど、音に関する実験を体験しました。 (小学生 24名参加。社員ボランティア講師2名参加。)

「ファミリーオープンハウスデー」

日頃、お父さんお母さんの仕事内容を知らない子どもたちに対し、職場を見てもらうことによって、理解を深めてもらうというイベントです。デンソーの全製作所で毎年開催しています。(843家族 2,915名参加)

製作所	実施日	内容
大安	7月30日、8月6日	職場見学、「レインスティック」づくり、ヘリコプター搭乗体験・消防車放水 (62家族176名参加)
北九州	8月5日	職場見学 (4家族8名参加)
幸田	8月20日	職場見学、トップクン・ソーラーメタルカー工作 (107家族352名参加)
阿久比	8月21日	職場見学、ロボットデモ見学 (12家族41名参加)
本社・池田	8月26、27、28日	職場見学、ギャラリー見学 (334家族1,165名参加)
西尾	9月15日、23日	職場見学、パイプカー・お散歩ロボット工作 (125家族438名参加)
高棚	9月15日、23日	職場見学、バルンアート・デニッシュパン教室 (32家族131名参加)
安城	9月15日、23日	職場見学、廃水処理・エコプラザ見学・ロボット見学 (59家族195名参加)
豊橋	9月23日、11月3日	職場見学、クルージング・飛行実演、模型飛行機製作 (26家族111名参加)
基礎研究所	11月3日	職場見学、ギャラリー見学 (24家族90名参加)

「地域イベントへのからくり作品 出展」

社内で2年に1回行われるアイデアコンテスト「夢唄(ムーラン)」の出展作品等を地域の創造性啓発イベントに出展協力しています。地域の子供たちにモノづくりへの関心をもってもらえればと考えています。

イベント	実施日	会場
安城市産業フェスティバル (4作品展示)	3月18日～23日	安城産業文化公園 デンパーク
トヨタグループアイデアコンテスト作品展(4作品展示)	4月15日～19日	産業技術記念館
三河地区中学生ロボットコンテスト(4作品展示)	10月21日	岡崎総合体育館
発明と工夫展 (1作品展示)	11月12日～17日	名古屋三越

環境保全



デンソー環境教育プログラム「ECOレンジャー21」

次世代を担う子供たちを対象に、「緑・水・大気」をテーマに、身近な自然を題材にして、楽しく環境保全の大切さを理解してもらおうという考え方で開催しています。2001年度に刈谷コースをスタートさせ、現在では刈谷・阿久比コース、西尾・幸田コース、安城コースに拡大しました。多彩な講師を招いて開催、2003年度はのべ109名の社員ボランティアが参加し子供達をサポートしました。

【刈谷・阿久比コース】参加者;愛知県刈谷市ならびに知多郡阿久比町在住の小学校4年生から6年生 27名(公募)

後援;刈谷市、刈谷市教育委員会、阿久比町、阿久比町教育委員会 刈谷市の富士松北小学校に隣接する「北っ子の森」を中心に自然を体感しながら学びました。(5講座1コース)

回	講座名	実施日	内容・会場
1	森の未来を描く	5月24日	森の中に芽生えた小さな木や草を観察し、この森をどんな森にしたいか話し合い「森の未来図」を描きました。 北っ子の森(刈谷市 富士松北小学校隣接)
2	川の自然調べ (親子参加)	7月19日	生活に密着した川に親子で入って自然観察をしました。たくさんの生きものがみられ、この川を「きれいにしたい」と実感しました。 阿久比川、殿越川(阿久比町)
3	ソーラーカーを作る	9月6日	「地球環境問題とは?自然エネルギー」をテーマにソーラーパネルを使ったソーラーカーづくりを通じて環境にやさしいエネルギーの利用方法を考えました。 刈谷少年発明クラブ(刈谷市)
4	街の環境探検	10月11日	市役所の周辺を探索して発見した、環境に優しい取り組みをエコパンフレットにまとめました。目的をもって観察すると驚くほどたくさんの発見がありました。 刈谷市内
5	森を作る	11月1日	第1回講座で観察した同じ森で、竹ドームを作りました。竹と格闘する最中に、小さな木の成長なども確認、少しずつでもこの森を育てていきたいと感じました。 北っ子の森(刈谷市 富士松北小学校隣接)

【西尾・幸田コース】参加者;愛知県西尾市と額田郡幸田町在住の小学校4年生から6年生 41名(公募)

後援;西尾市、西尾市教育委員会、幸田町、幸田町教育委員会 「西尾いきものふれあいの里」を中心に自然を体感しながら学びました。(5講座1コース)

回	講座名	実施日	内容・会場
1	万燈山の春色探し	4月26日	地域の人々が守り育ててきた万燈山に登りながら春の色を探しました。また、一人一人が採取した植物をお皿に盛り付けてオリジナル料理を作り春の色を目でいただきました。 西尾いきものふれあいの里(西尾市)
2	水辺の生き物	6月1日	工場の排水処理水を利用したデンソーのビオトープで、生き物探索、また生き物が住みやすい環境を維持するための手入れをし、水と生き物の関係を考えました。 デンソー善明製作所敷地内ビオトープ(西尾市)
3	夜の森探検	7月12日	夜行性の昆虫を捕まえるための仕掛けを作り、日常目にしない夜の里山で生き物をじっくり観察しました。人工樹液を工夫して木の幹に仕掛けたり、穴を掘ってえさをしかけたりして、さまざまな虫を観察しました。 西尾いきものふれあいの里(西尾市)
4	川の力にふれる	9月13日	自然エネルギーの「水力」をテーマに、工場の中で使われているマイクロ水力発電を見学し水の流れる力にふれた後、実際にペットボトルで水車を作って発電してみました。 デンソー西尾製作所(西尾市)
5	かくれが作りと竹クッキング(親子参加)	10月4日	親子で、地元の竹林の手入れをして、切り出した竹を利用してかくれがを作ったり、器や箸を作ったり、柿寒天やホットケーキを作りました。 幸田町内竹林(幸田町)

【安城コース】参加者;愛知県安城市と近郊在住の小学校4年生から6年生 17名(公募) 後援;安城市、安城市教育委員会 協力;株式会社デンソーウェル 安城市から矢作川をさかのぼり長野県下伊那郡浪合村「デンソーリゾート治部坂こまくさ」を中心に自然を体感しながら学びました。(2泊3日)

講座名	実施日	内容・会場
水のふるさとを探しにいこう	7月30日～8月1日	日本のデンマークと呼ばれた安城市の産業や人々の生活を支えてきた矢作川(やしがわ)の源流がある浪合村までさかのぼり、川の発生源の観察、森の手入れ、里の観察など体験しました。地元の食材を収穫して川原で自炊し、オリジナルの五平もち作りにも挑戦。すばらしい自然を満喫し水の大切さを肌で感じた。 安城市・治部坂(長野県)

刈谷市「小堤西池カキツバタ群落自然保護活動」

国の天然記念物としても指定されている刈谷市北部の「小堤西池カキツバタ群落」。「カキツバタを守る会」により保護活動が行われてきましたが、当社のボランティアも1996年から参加し、「守る会」の皆さんと一緒に作業をしています。

実施日	内容
5月18日	ボランティアイベント「カキツバタふれあいのウォークラリー」開催(106名の市民が参加。社員ボランティア29名参加。)
6月28日	丘陵地の整備(刈谷トヨタグループ社員44名参加。内デンソー社員ボランティア31名参加。)
9月6日	湿原内の草刈り(刈谷トヨタグループ社員32名参加。内デンソー社員ボランティア29名参加。)

衣料回収活動

社員、市民の家庭で眠っている衣料を回収し、NPO法人日本救援衣料センター(大阪市)を通じてアジア・アフリカ・南米の恵まれない方に贈っています。衣料の回収、分別、箱づめには多くの社員ボランティアが参加しました。(1993年から、本社で始めた活動が、その後他の製作所にも広がって毎年春と秋の衣替えの時期に実施)

会場	実施日	内容
本社 大安製作所	6月14日、21日	ダンボール箱1,340箱の衣料品を回収 カンパ金1,398,000円とともに寄贈 (社員ボランティア148名参加、衣料提供者907名)
本社 阿久比製作所 幸田製作所 広島工場	10月18日、19日、26日	ダンボール箱752箱の衣料品を回収 カンパ金912,000円とともに寄贈 (社員ボランティア132名参加、衣料提供者704名)

西尾市

「平原ゲンジボタルの里保存活動」

当社西尾製作所は1995年から「平原ゲンジボタルの里」を守るボランティア活動に参加。翌1996年には保存会の会員登録をしました。保存会では、ゲンジボタル生息区の草刈りを行うなどの活動を通じ、地元の方と共に自然を守るお手伝いをしています。

実施日	内容
4月26日	「タケノコまつり」設営準備(鯉のぼり取り付けなど) (社員ボランティア16名参加)
6月6日～21日	「ホテルまつり」運営サポート(駐車場整理など) (社員ボランティア75名参加)
10月4日	「芋煮会」運営サポート (社員ボランティア17名参加)
12月7日	「ゲンジボタルの里」草刈ボランティア (社員ボランティア15名参加)

従業員ボランティア支援



■ マッチングギフト

役員・社員が、個人またはグループで社外の公益団体に寄付した時、寄付先が会社の支援対象と認められた場合、会社から同額を上乗せ(マッチング)して寄付する制度です。

2002年度(2002年4月~2003年3月)は、202件が活用され、40団体への寄付を行いました。

■ ボランティア休暇・休職制度(青年海外協力隊参加支援制度)

青年海外協力隊への参加期間の約2年間の休職を認める制度です。

本制度を利用して青年海外協力隊に参加しているのは1名です。(2004年2月時点)	赴任先	内容
	カンボジア	環境教育の教師(小学生対象)

■ デンソーハートフルクラブの活動

「デンソーハートフルクラブ」は、社員のボランティアグループとして1998年に発足しました。世話人を中心とした有志社員による自主運営組織で、製作所毎に組織化されています。自主企画活動の推進、地域のボランティア活動への参加、使用済み切手収集等の草の根活動など、各地域毎に工夫を凝らした活動を行っています。会社のボランティア支援センター(94年設立)が活動をサポートしています。

会員数 : 約1,200名(2004年1月時点)

デンソーハートフルクラブ独自の企画・主催による活動

【主な活動】

クラブ	実施日	内容
クラブ刈谷	5月10日 12月6日	老人保健施設「相生」の車いすの点検を実施(2回/年実施 25名/回参加)
クラブ安城	10月5日	安城市福祉まつりでの「車いす体験コーナー」担当(12名参加)
クラブ西尾	5月17日~	ふれあいみかん園の整備(7回/年実施 約50名/回参加)
クラブ高棚	4月20日~	特別養護老人ホーム「ハピリス ーツ木」慰問 毎月第3日曜日(12回/年実施 8名/回参加)
クラブ大安	7月6日~	大安町スポーツ公園周辺清掃活動(4回/年実施 50名/回参加)
クラブ幸田	10月19日	衣料回収活動(23名参加)
クラブ豊橋	5月25日	豊橋善意銀行「善意フェスティバル2003」ゲームコーナー担当(9名参加)
クラブ阿久比	6月14日 8月2日	心身障害者小規模授産施設「もちの木園」の草刈りボランティア活動(2回/年実施 10名/回参加)
クラブ基礎研	5月10日	家族参加での愛知池周辺の清掃活動(10家族参加)

地域で行われるボランティア活動への参加

各種ボランティア活動への参加者数 : ボランティア参加人員 03年度 約2,500名

【主な参加イベント】

地域の清掃活動(河川、周辺道路、地下道など)	図書館ボランティア(本の貸し出し、整理整頓の補助)
地域の福祉まつりでのお手伝い(模擬店のお手伝い、交通整理など)	電友会スポーツ部による地域のスポーツ講習会補助
福祉施設でのお手伝い(夏祭りのお手伝い、外出の時の付き添いなど)	電友会カラオケ部、日舞部、音楽部、民謡部などによる老人ホームの慰問
地域のスポーツイベントでの運営補助(マラソン大会、トライアスロン大会など)	トヨタグループ災害ボランティアネットワークによる、体験研修会参加(炊き出し・救急支援など)

海外拠点の活動



海外拠点の活動

海外拠点においても、それぞれの地域において良き企業市民としての活動の輪が広がっています。デンソーの海外法人は企業市民として、地域の声に耳を傾け、豊かな地域社会づくりのためにさまざまな活動を展開しています。

主な活動	開催年月	内容
アメリカ 北米デンソー財団 設立	設立 2001年3月6日	デンソー・インターナショナル・アメリカ(略称:DIAM、所在地:ミシガン州サウスフィールド)など4拠点が、北米における社会貢献活動として「北米デンソー財団」を設立。主に技術系大学院や技術研究機関、災害発生時の緊急支援等に対して寄付を行っています。
DIAM Rouge Rescue (川の清掃活動)	2003年～	DIAMは、2003年からデトロイト地域を流れるルージュ川(Rouge River)の清掃活動をしています。2003年度は社員25名がボランティアとして参加しました。
DMMI Walk America (小児麻痺救済活動)	1991年～	デンソー・マニュファクチュアリング・ミシガン(略称:DMMI)は、1991年から小児麻痺救済のための募金運動に協力、募金活動をしなが、6.5マイルを歩く活動を行っています。2003年度は社員約100名が参加し、毎年\$15,000～\$19,000を募金しています。
DMMI Junior Achievement (子供への社会教育)	1993年～	DMMIは、1993年から地域の学校児童に、会社の成り立ちや製品開発・販売などビジネスの基本についてボランティアで教えています。2003年度は、社員30名が参加しました。
DMMI Fort Food Challenge/ Toys for Tots (食材・おもちゃ提供活動)	1994年～	DMMIは、1994年から地域の恵まれない世帯に食材を提供するボランティア活動を展開、2003年度は社員500名が参加しました。また、1997年から子供達におもちゃを提供するボランティア活動も実施し、社員150名が参加しました。
DMTN United Way Campaign (寄付活動)	1990年～	デンソー・マニュファクチュアリング・テネシー(略称:DMTN)は、1990年から毎年社会福祉団体ユナイテッドウェイに寄付をしています。ユナイテッドウェイは70以上のプログラムに資金を展開、DMTNは\$250,000を寄付しました。
DMTN Food Drive (食材提供活動)	2002年～	DMTNは、「Cupboards are Bare」Campaignの一環で、5トンの保存食品を地域に寄贈しました。約750名が参加したこのイベントに、社員13名が参加しました。
DSCA Rebuilding Together Day 2003 (傷んだ家の修繕活動)	1998年～	デンソー・セールス・カルフォルニア(略称:DSCA)は、1998年から地域の恵まれない世帯(高齢者や障害者など)の家を1日ばかりで修繕する活動を行っています。これは全米最大のボランティア活動であり、全ての修理・修繕は無料で材料は寄付でまかなわれています。2003年度は、社員25名が参加し、屋根修理や塗り替え、キッチン修理・掃除など、1日で14軒の修繕、作業終了後ボランティアのサイン入りTシャツを贈りました。
DSCA AIDS Walk (エイズ救済活動)	1995年～	DSCAは、1995年からエイズに苦しむ人々に役立てようと、救済のための募金活動に協力しています。2003年度は、社員25名が活動に参加しました。DSCAはマッチングギフトの制度を活用し、集まったお金\$2,000と同じ額を寄付しています。
DSCA Thanks-giving Food Baskets (食材提供活動)	1996年～	DSCAは、1996年から地域の恵まれない世帯(高齢者や障害者など)に、感謝祭の食材を提供する活動を行っています。2002年度は、社員約250名が活動に参加しました。
DIAU Hearty Help (心臓疾患患者へのチャリティー活動)	2003年～	デンソー・インターナショナル・オーストラリア(略称:DIAU)とオーストラリア・アウトモウティブ・エア(AAA)は、2003年に心臓疾患患者へのチャリティー募金を募る24時間自転車レースに参加しました。
AAA RACV Energy Breakthrough Program (ハイブリッドカー大会支援)	2003年～	AAAは、2003年に、高校生対象のハイブリッドカー大会の支援をしました。これは、車作り・レースを通じ高校生に自動車の技術や環境対策について学んでもらうもので、大会スポンサー及び車作りの技術支援をしました。
DNBR (養老院ボランタリー活動)	2003年～	デンソー・ブラジル(略称:DNBR)は、2003年から、社員が品々を持ち寄りバザーを行い、その売上・寄贈品を養老院に寄付しています。社員30名が参加し、主食品や乳製品の配布、音楽演奏などの慰問活動をしました。
DITH National Children Day (子供の日のチャリティー活動)	2000年～	デンソー・インターナショナル・タイランド(略称:DITH)は、2000年から、国民の子供の日に近隣の学校のこわれた遊具を直すボランティア活動を行っています。また、寄付に加え、おもちゃやスポーツ用品を寄贈しており、2003年度は社員100名が活動に参加しました。

デンソー 社会貢献活動の歩み

1984

- ・障害者の福祉工場「デンソー太陽株式会社」設立
- ・「オペレーション・ローリー」への協賛開始(～1988年)
世界の若者が帆船で海外を一周し、科学・奉仕・冒険をする国際イベントに協賛

1990

- ・経団連「1%クラブ」へ入会
- ・「社会貢献活動委員会」発足
社会貢献活動の方針・活動評価・報告の仕組みづくりを開始

1991

- ・会社スポーツクラブによる地域の「少年サッカー教室」を開催
- ・「デンソーサンデースク・ル」(デンソー短大の講座を中高校生に開放)開始
- ・会社施設の地域開放(体育館、グラウンド、テニスコートなど)開始

1992

- ・大分国際車いすマラソン大会への協賛・支援開始

1993

- ・「青少年交換ホームステイ」開始
- ・社会貢献パンフレット「CORPORATE CITIZENSHIP」発行

1994

- ・「デンソー基本理念」のなかで、「自然を大切に、社会と共生する」が方針として掲げられる
- ・総務部内に「ボランティア支援センター」を設立
社員の自主的な社会参加活動の支援を開始
- ・「青年海外協力隊参加支援制度」導入

1996

- ・「骨髄提供者に対する休暇制度」導入

1997

- ・「デンソービジョン2005」で、「社会の共感を呼ぶ企業づくり」が重点課題として掲げられる
- ・「社会貢献の基本方針」策定
社会貢献活動の理念、基本目標、重点3分野(障害者福祉、青少年育成、環境保全)を設定
- ・少年少女発明クラブに対する講座開催支援開始
- ・「ファミリーオープンハウスデー」開始

1998

- ・「デンソーハートフルクラブ」設立
社員有志によるボランティアグループを組織化
- ・「マッチングギフト・ファンド」導入

1999

- ・NPO法人「アジア車いす交流センター」設立

2000

- ・社会貢献活動に関する評価システムを導入

2001

- ・NPOと連携し地域の小学生を対象とした体験型の環境教育プログラム
「ECOレクチャー21」開始
- ・青少年創造性啓発プログラム「デンソーモノづくりフェスタ」開始
- ・社会貢献パンフレット「ともに歩む社会へ。」発行

2002

- ・「企業の社会的責任(CSR)」に取り組むため、ワーキンググループを発足
- ・OB会員によるボランティアグループ「ハートフルクラブ 弥栄寿会」が発足
- ・NPO法人パートナー・サポートセンター主催の「パートナーシップ大賞」において、
「デンソーとNPO法人お菓子工房/ノラの会のお菓子販売協働事業」がパートナーシップ賞を受賞

2003

- ・「NPOサポートネットワークプログラム」開始
（ボランティアネットワークシステム「スマイルゆうネット」
「リユースPC寄贈プログラム」
「ボランティア人材バンク制度」）
 - ・朝日新聞文化財団主催の「企業の社会貢献度調査」において、「障害者雇用賞」を受賞
 - ・勤労者マルチライフ支援事業推進会議他主催の「ワンモアライフ勤労者ボランティア賞」において、
デンソーボランティア支援センターが「ナイスアシスト賞」を受賞
-